

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日：令和7年9月29日

事業者名：株式会社 本州緑化建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標		
環境	アイシティECOプロジェクトの活動に参加。コンタクトレンズの空ケースを回収し再資源化することで、二酸化炭素の削減に貢献しています。	③すべての人に健康と福祉を、⑬気候変動に具体的な対策を、⑯パートナーシップで目標を達成しよう	R5年度3.55kg。 (9,806.875kg-CO2) 500mLペットボトル9,800本分 R7年度3.88kgのコンタクト空ケースを回収。 (10,497.5kg-CO2) 500mLペットボトル10,497本分の二酸化炭素の削減に貢献しています。	指標	コンタクト空ケースの回収量増により、より多くの二酸化炭素の削減を目標	
				目標	R10年度までにR7年度比120%以上の削減を達成	
社会	「緑の募金」へ寄付をすることで、社会貢献に取り組む。	⑬気候変動に具体的な対策を、⑮陸の豊かさも守ろう、⑯パートナーシップで目標を達成しよう	R7年度10,000円の募金。	指標	募金額の増額	
				目標	今年度中に、敷地内の自動販売機を緑の募金付きにすることで、ドリンクを購入する方全員が募金に参加でき、募金をより身近なものにする。 募金先の活動から森林の整備・緑化の推進を図ることで、環境改善にも役立ちます。 R10年度までに募金額20%増を目指します。	
経済	労働環境を改善していくことで、従業員の健康維持・働き甲斐については、事業の効率化に繋がると考えている。	⑧働きがいも経済成長も	R6年度より、年に1回行う健康診断に加え、再検査費用も会社負担としている。 R7年3月、就業規則の改定を行い、週休二日制を導入。 夏季健康促進手当を策定し、屋外で働く従業員にR6年度は2カ月間、R7年度は3カ月間支給している。	指標	更なる環境改善	
				目標	R10年度までに、従業員の賃金5%UPを目指す	
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・重点項目について社内共有を実施。 ・三側面の取り組みについて、担当者を設定しその達成に向け工程表を作成。 隨時、経過報告を掲示することで目標に向け取り組んでいく。				
	☑	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取組み記載ページのURL : https://www.honshuryokka-kensetu.com/				